

景況レポート

(5月分・情報連絡員 80名)

製造業はDI値が5ヵ月連続で上昇

【概況】5月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが7.5%(前月調査14.1%)、「悪化」が42.5%(同43.6%)で、業界全体のDI値は-35.0となり、前月調査と比較し5.5ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-31.2で前月調査(-36.7)に比べ5.5ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-37.5で前月調査(-25.0)に比べ12.5ポイント下回った。

製造業は、収益や雇用を中心にDI値が上昇した。非製造業は、家電販売・自動車販売は引き続き好調であるが、ほとんどの業種で売上のDI値が低下しており、全体的には景気の回復感が弱いままである。

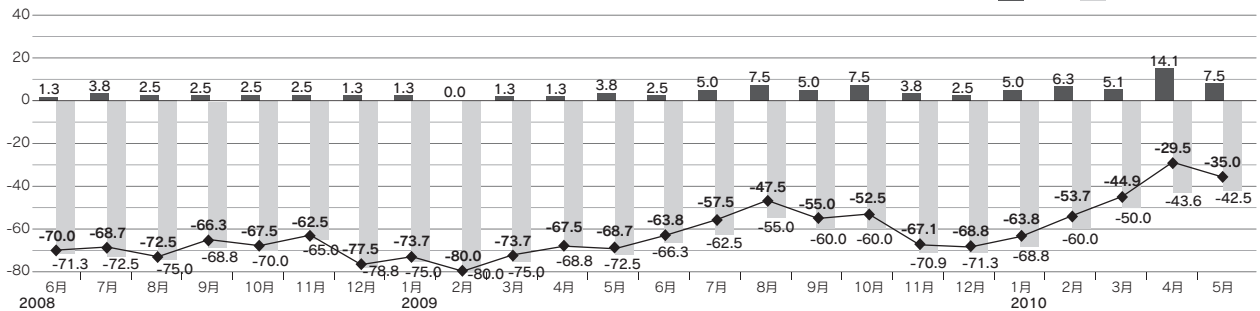
(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	☔️
非製造業	☀️	☀️	☔️	☔️	☀️	☔️

【凡例】
 ☀️ 快晴 30以上
 ☀️ 晴れ 10以上 30未満
 ☁️ 曇り 10未満
 ☔️ 雨 △10以上 △30未満
 ☔️ 雷雨 △30以下 △10未満
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

パン製造	小麦粉の値下がり効果が出てきて、収益状況が好転している。
麺類製造	売上が天候に左右されるため、5月も苦戦した。
清酒製造	4月分の清酒出荷量は、2,177 kℓで、前年同月比108.2%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で118.1%、純米酒が103.2%、本醸造酒が103.3%、レギュラー酒が108.7%という状況になっている。
味噌・醤油	4月分の出荷量は、前年同月比で味噌が89.3%、醤油は105.7%で推移した。
木材・木製品	外材・集成材が値上がり傾向にあり、国産無垢材に動きが出てきた。[一般製材] 南洋材を中心に先月より入港料が増加した。首都圏を中心に住宅着工戸数が伸び始めており、構造用合板、集成材等の需要が出ていて在庫が不足している。[外材]
漆器	5月の連休の集客は前年比50%であったが、売上は101%であり、一人当たりの購入単価が上がっている。
米麦卸売	精米販売状況は、一般家庭で生産者直販米や縁故米を消費し尽くし、店頭販売米が購入されるようになってきた。
自動車販売	5月の新車販売台数は、登録自動車が2,143台(前年同月比130.4%)、軽自動車が1,861台(同127.5%)で、合計4,004台(同129.0%)であった。登録自動車は11ヵ月連続して前年同月上回った。
石油	ガソリン1ℓ当たり139円で前月比8円引き上げ、軽油1ℓ当たり115円で前月比7円の引き上げ、配達灯油は18ℓ1,477円で前月比102円の引き上げとなった。仕切り価格の小売価格への転嫁が少し進み、小売価格が全国平均に近づいた。
電機販売	テレビ、DVDの供給不足が月末に掛けて回復してきた。エコポイント終了時の駆け込み需要を考えると、まだまだ好況が続くと思われる。
商店街	家電販売等上向ってきた業種もあるが、全体的にみるとまだ回復感はない。[秋田市] 組合病院移転の影響は相当なもので平日わずかにあった賑わいもなくなった。[鹿角市] 悪化している中でも、工夫した営業策を展開している個店は消費者を掴んでおり、個店間の格差が開いてゆくと思われる。[大館市]
型枠大工工事	前年同月に比べて仕事量を確保できており、売上は増加しているが、その内容はほとんどが公共施設であり、民間の景気の底上げは感じられないため、先細りの感が否めない。